

報道機関 各位

平成 28 年度の内部被ばく検査等の実施状況について

市では、平成 23 年 3 月に発生した東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故を受けて、独自に購入したホールボディカウンターやゲルマニウム半導体検出器を用いて、内部被ばく検査や食品等の放射性物質の検査を実施しています。

このたび、平成 28 年度の検査結果がまとまりましたので、お知らせします。

1 平成 28 年度の実施状況

(1) 固定式ホールボディカウンターによる内部被ばく検査の結果

市民の皆様の健康管理に役立てていただくため、検査を実施しています。

平成28年度の検査結果は次のとおりです。

なお、受検者1,881人の預託実効線量は、全員が、健康に影響がないとされている 1 mSv 未満であり、検出限界値を下回った方は1,873人で、全体の99.6%となっています。

受検者数	預託実効線量		
	1mSv 未満	うち不検出 (割合)	うち検出 (割合)
1,881	1,881	1,873 (99.6%)	8 (0.4%)

※ 預託実効線量は、体内から受ける内部被ばく線量の累積線量（成人は50年、子どもは70歳まで）

※ 検出限界値は、放射性セシウム 134=200 ベクレル、放射性セシウム 137=220 ベクレル（検出限界値を預託実効線量に換算した場合、「3～7 歳」の例で示すと、0.058mSv となります）。

年齢別受検状況

年齢区分	～9 歳		10 歳代		20 歳代		30 歳代		40 歳代		50 歳～	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
受検者数	195		127		262		359		307		631	
	97	98	73	54	129	133	173	186	133	174	328	303

※ 年齢は、H23. 3. 12 時点で区分しています。なお、4 歳未満の子どもを対象とした検査を開始したため、「～9 歳」の区分には H23. 3. 12 時点での未出生児も含まれています。

(2) 巡回方式による内部被ばく検査の結果

市内の小中学校に在学する児童・生徒については、県が所有する車載式ホールボディカウンターにより、学校を巡回しながらの検査を実施しました。

平成28年度の検査結果は次のとおりです。

なお、受検者 18,076 人の預託実効線量は、全員が、健康に影響がないとされている 1 mSv 未満であり、検出限界値を下回った方は 18,043 人で、全体の 99.8%となっています。

受検者数	預託実効線量		
	1mSv 未満	うち不検出 (割合)	うち検出 (割合)
18,076	18,076	18,043 (99.8%)	33 (0.2%)

年齢別受検状況

年齢区分	～9 歳		10 歳代		20 歳代		30 歳代		40 歳代		50 歳～	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
受検者数	17,956		5		19		35		17		44	
	8,989	8,967	4	1	15	4	23	12	11	6	22	22

(参考 これまでの検査結果)
 年度別受検者数（市＋県）の推移

年度	受検者数	預託実効線量 1m Sv未満				
			うち不検出	(割合)	うち検出	(割合)
H23 年度	3,100	3,100	2,754	88.8%	346	11.2%
H24 年度	43,457	43,457	42,870	98.6%	587	1.4%
H25 年度	18,678	18,678	18,546	99.3%	132	0.7%
H26 年度	31,904	31,904	31,868	99.9%	36	0.1%
H27 年度	3,350	3,350	3,322	99.2%	28	0.8%
H28 年度	19,957	19,957	19,916	99.8%	41	0.2%
合計	120,446	120,446	119,276	99.0%	1,170	1.0%

【問い合わせ先】

保健所総務課 放射線健康管理センター

電話 27－8560